

② 第2委員会

「いのちを大切にし、思いやりのあるまちづくり」



それでは、第2委員会の意見を発表します。

第2委員会のテーマは「いのちを大切にし、思いやりのあるまちづくり」です。このテーマについて考えるため、^{わたし}私たちは、7月25日に西部^{いりょう}医療センターの施設^{しせつ}見学を行いました。

そこで、^{わたし}私たちは、ひだまりの丘^{おか}や周産期^{いりょう}医療センター、ヘリポート、そして、放射線^{ほうしゃせん}治療^{ちりょう}装置^{そうち}を見ました。そして、西部^{いりょう}医療センターでは、患者^{かんじゃ}さんの気持ちが和らぐように、思いやりや優^{やさ}しさがあふれており、職員^{しよくいん}の方々が、一生懸命^{けんめい}患者^{かんじゃ}さんの命を救ってくれているということがわかりました。

その後、^{わたし}私たちは、施設^{しせつ}見学をしてわかったことや思ったことをもとに、名古屋を「いのちを大切にし、思いやりのあるまち」にするためには何をすればいいか考えました。

それでは、^{わたし}私たちが考えたことを順番に発表します。

○子ども議員

私は、施設見学をして病気の見つけ方、そして病気を治す機械と道具などを教えてもらいました。けれども、病院には優しさがすごくたくさんありました。例えば緑をたくさんにしたり、部屋に工夫をしたり「いのちを大切にし、思いやりのあるまち」にするためには、一人一人の優しさが大切だと思いました。

自分がやった優しさはいつか自分に返ってくるはずだと思いました。

○子ども議員

私は、西部医療センターに行き、患者さんが安心できるような工夫がたくさんあることを知りました。例えば患者さんの気持ちが和らぐために、植物や池がある施設があります。

このようなことを踏まえて、「いのちを大切にし、思いやりのあるまち」にするには、体に不自由がある人でも安心安全に生活できるようにする必要があると思います。例えば車椅子の人が通りやすいように、階段の横にスロープをつけたりということです。少しはそのようなことがあります、その数をふやしてほしいです。

○子ども議員

^{わたし}私は、名古屋市立西部医療センター^{いりょう}を見学しました。そして、その施設^{しせつ}にあるひだまりの丘^{おか}が一番心に残りました。それはそのひだまりの丘^{おか}は、四季折々の植物があるからです。

そのほかにもリハビリのコースや一休みできるベンチもありました。^{わたし}私はとても気持ちが和らぐ場所だと思いました。もっと人が集まるようにおもしろい植物を植えたり座^{すわ}って休憩^{きゅうけい}できる芝生^{しばふ}をつくったらいいと思いました。そして、雨の日でも花を見てくつろげる場所をつくったらいいと思いました。

○子ども議員

^{わたし}私は、西部医療センター^{いりょう}に見学に行きました。テーマは「いのちを大切にし、思いやりのあるまちづくり」です。

^{わたし}私は、いのちを大切にし、思いやりのあるまちづくりをするためには、何をすることが必要かを考えました。床^{ゆか}がやわらかい、リハビリができるなど、患者^{かんじゃ}さんに優しい工夫^{やす}がされているひだまりの丘^{おか}のようなところが名古屋にいっぱいできたらいいなと思いました。

○子ども議員

^{わたし}私は今、世界には耳が聞こえなかったり、目が見えなかったりする^{しょうがい}障害者の人たちがたくさんいると思うので、名古屋市ではその人たちでも十分楽な生活ができるようなまちにしたいと思います。そのために、^{わたし}私は^{しせつ}施設見学を生かして、病院に、病気についての相談室や病気を^{わずら}患っている人が、同じ病気に新たに^{けいけん}なった人へと経験話をすることによって、急に病気になって「不安」な気持ちを「安心」な気持ちへとかえることができると^{わたし}私は思ったので、このような場所があったらいいなと思いました。

○子ども議員

^{わたし}私が、西部医療センターを見学したかった理由は、自分が834グラムの^{ちょうみじゆく}超未熟児として産まれたので、2カ月半、NICUに入院していたおかげで、こんなに大きくなったことに^{かんしゃ}感謝しています。名古屋市では、このように^{せつび}設備が整ったNICUなどの周産期医療や^{ちりょう}がん治療に大変効果がある^{こうか}陽子線治療をもっと病院にふやしてほしいと思います。

そして病気になったり赤ちゃんが小さく生まれても、安心して親子や患者さんが^{かんじゃ}治療を受けられる名古屋にすると「いのちを大切に、思いやりのあるまち」になるとと思います。

○子ども議員

西部医療^{いりょう}センターを見学し、一日中寝^ねたきりの患者^{かんじゃ}さんが安心できるように、中庭に四季折々の花などを育てたり、お母さんが安心できるような体制^{たいせい}で赤ちゃんを産めたり、できるだけ入院時も赤ちゃんとお母さんが過^すごせるようにしていることなどがわかりました。

このセンターで大事にしていることを、名古屋市の中のほかの病院などに生かせたらいいと思いました。

○子ども議員

私^{わたし}は西部医療^{いりょう}センターに行ったのですが、特に印象に残ったのが周産期^{いりょう}医療センターです。そのわけは、お母さんと赤ちゃんに異常^{いじょう}があったら集中治療室^{ちりょう}に運ばれるようにいろいろな設備^{せつび}が整っていることがわかりました。そして、周産期^{いりょう}医療センターがもっとよくなるためには、毎朝に赤ちゃんとお母さんの健康診断^{しんだん}をして異常^{いじょう}があったら検査^{けんさ}する態勢^{たいせい}にするようにすれば、早くに異常^{いじょう}が見つかることができます。各区に西部医療^{いりょう}センターのような設備^{せつび}の整った病院があるまちにしてほしいです。

○子ども議員

私^{わたし}が西部医療センター^{いりょう}を見学したいと思った理由は、祖父^{そふ}が今がんで入院中なので、がんのことなどを知りたかったからです。私^{わたし}の祖父母^{そふぼ}は時々健康のために歩いています。なので、みんなが歩きたくなくなるような段差のない道ばかりだといいなと思います。

もう一つは赤ちゃん一人産むにもいろいろな人の助けが必要です。また、子育てをするにもお母さん一人ではできません。時々大切な命^{そまつ}を粗末にするニュースを見ると悲しくなります。だから、お母さんが子育てしやすいまちになるといいと思います。

○子ども議員

僕^{ぼく}が、なごや子ども市会子ども議員^{おうぼ}に応募して一番行ってみたいと思ったところが西部医療センター^{いりょう}でした。西部医療センター^{いりょう}には手術室^{しゅじゅつ}や患者さんの癒やし空間^{かんじゃ}として使われるひだまりの丘^{おか}などの場所がありましたが、その中でも一番印象に残ったのがヘリポートでした。ヘリポートは夜でも明かりがついているので、ヘリコプターからも見えやすくなっていて、周りには柵^{さく}がありませんでした。その理由は、ヘリコプターが強風にあおられて横転するのを防ぐため^{ふせ}でした。このヘリポートは災害時^{さいが}に多くの人々を助けることができる素晴らしい施設^{しせつ}でした。

○子ども議員

僕は、西部医療センターに視察に行ってきました。たくさんの設備があり、最先端の医療ができるところです。周産期のハイリスクの出産を24時間体制で受け入れをしてもらえる高度な治療ができる医療器具があり、すばらしい病院です。屋上のヘリポートも見学ができました。重症な患者さんを受け入れることができます。ひだまりの丘は癒やしの空間と地球環境配慮のための屋上緑化として整備されています。リハビリテーションがあり、患者さんがリラックスできて早く病気が回復すると思いました。こういう病院がたくさん名古屋にあってほしいと思います。

○子ども議員

私は、西部医療センターで見た放射線治療に感心しました。

1秒間に3回回るCTや体への負担が少なく治療ができるリニアック、ほかにもいろいろな医療器具があり、治療が受けやすいと思ったけれど、中には怖いから治療を受けたくないという人がいると聞いたので、コンピューターで体の中を傷めずに見られるということがわかる、わかりやすい動画をつくって流すという方法を考えました。この方法なら早期発見もできていいと思います。

○子ども議員

^{わたし}私は^{いりよう}西部医療センターで、命を大切にすることがどれだけ大切かということ学びました。その中で、一番心に残ったことは、^{ほうしゃ}放射線を使って体の中をコンピューターで体を傷めずに見られることです。これは西部^{いりよう}医療センターの理念、^{かんじゃ}「患者さんと^{しよくいん}職員の笑顔が見られる病院」にぴったり合っていると思います。この体の中を見られることを使って、^{じゅしん}「受診しなかったら、こういうふう、悪い例になるんだよ」ということを体の中を^{たんけん}探検していきながら見るPR動画をおもしろおかしく伝えればいいなと思いました。

^{わたし}私たち第2委員会は、このようなことが名古屋を「いのちを大切にし、思いやりのあるまち」にするために必要だと考えました。

これで、第2委員会の発表を終わります。



■ 松井財政福祉委員長の答弁

第2委員会の皆さん、お疲れさまでした。
この議場の皆さんに自分の思いをしっかりと
伝えることができ、大変すばらしい発表だ
と思います。

今回私たちは、7月25日、西部医療セン
ターに行きました。そしてそこでまず最初
見たのは、屋上に屋上庭園、ひだまりの丘、
病氣やけがで不安になっている患者さんの気
持ちを和らげるような工夫や配慮がありました。ヘリポートも見た
よね。もしも地震などの災害が起こっても、患者さんをすぐに受け
入れられるということがわかりました。

放射線治療については、今まで見たことがないような大きな装置、
たくさんありました。そして体に優しい治療を行っていることがよ
くわかったと思います。

また、周産期医療センターでは、看護師さんから産まれたばかり
の、まさに1時間前までお母さんのおなかの中にいたかわいらしい
赤ちゃんをみんなで一緒に見たよね。出産や育児に関し、お母さん
や赤ちゃん、家族、みんなが安心できるようなさまざまな取り組み
をやっていることを、看護師さんからも学んだと思います。

このような見学を通じて、皆さんはそれぞれの視点で命の大切さ
を考えることができたんじゃないかと思います。

そして、子ども委員長と子ども副委員長のもと、今回のテーマで
ある名古屋市を「いのちを大切にし、思いやりのあるまち」にする
ために必要なことについて、13名の委員さん全員でそれぞれ意見・
提案が出ていました。皆さんの力を合わせて、活発に議論を行った



結果、第2委員会として立派な意見発表をつくり上げることができ、
私^{わたし}たち大人の議員も大変感動しました。うれしかったです。

これからも命の大切さについて、この子ども市会で学んだことや
経験^{けいけん}したことを生かして、より具体的に考え行動してほしいと思
います。そして、ぜひ御家族やお友達に伝えていただきたいと思いま
す。私^{わたし}たち議会も、皆^{みな}さんからいただいた提案^{ていあん}をしっかりと受けと
めて、名古屋市を「いのちを大切にし、思いやりのあるまち」にす
るために、より一層^{いっそう}努力していきたいと思います。

今回、こうして皆^{みな}さんと出会い、さまざまな意見をいただけたこ
とは、私^{わたし}たちにとっても非常に大きな経験^{けいけん}となりました。この第2
委員会を担当^{たんとう}させていただきました中村副委員長、柴田副委員長、
指導主事^{しどう}の伊東先生、代表^{いとう}いたしまして私^{わたし}から心から感謝^{かんしゃ}したいと思
います。

最後に、第2委員会のみんな、3日間という大変短い期間でした
けれども、6年生のみんなはもう来年は中学生、そして5年生のみ
んなは来年度は各小学校の最上級生、リーダーであります。この3
日間の経験^{けいけん}を生かして、ぜひともさらに飛躍^{ひやく}していただきたいと思
います。本当にありがとうございました。

これで私^{わたし}の答弁^{とうべん}を終わります。

